

第 6 回 岡崎市都市計画マスタープラン策定委員会 議事要旨

日 時	2020 年 7 月 9 日（木）10:00～11:45		
場 所	岡崎市役所 分館 2 階 202 号室		
議事骨子	1. 開会 2. 議題 都市計画マスタープラン改定素案について 3. 報告 今後のスケジュールについて 4. 閉会		
配付資料	・ 次第 ・ 資料 1 計画書素案 ・ 資料 2 第 5 回策定委員会、都市計画審議会における委員からの意見とその対応 ・ 資料 3 今後のスケジュール		
委員 ■出席 □欠席	13 名中 13 名出席		
	所 属	職 名	氏 名
	■名城大学	教授	松本 幸正
	■愛知産業大学大学院	教授	宇野 勇治
	■東海学園大学	名誉教授	宮崎 幸恵
	■岐阜工業高等専門学校	教授	鶴田 佳子
	■愛知県都市整備局都市基盤部都市計画課	課長	齊藤 保則
		（代）課長補佐	菅沼 克文
	■愛知県西三河建設事務所	企画調整監	杉山 謙
	■岡崎商工会議所	女性部会長	稲垣 栄子
	■岡崎農業委員会	会長	羽根田 正志
	■NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた	事業企画マネージャー	天野 裕
	■NPO 法人 21 世紀を創る会・みかわ	専務理事	斎藤 眞澄
	■株式会社まちづくり岡崎	取締役事業統括本部長	長谷川 伸介
	■市民代表		片桐 政勝
	■市民代表		伊藤 佳子

1. 開会

事務局

只今より第 6 回策定委員会を始めさせていただきます。本日の会議につきましては、岡崎市都市計画マスタープラン策定委員会設置要綱第 5 条第 2 項の規定に基づき、委員の半数以上が出席されていますので会議が成立致しますことをご報告いたします。なお、本会議につきましては、策定委員会設置要綱第 5 条第 3 項の規定に基づき公開することとしておりますが、希望者がございませんでしたので傍聴者なしとさせていただきます。本日の日程につきましては、次第に沿って進めさせていただきたいと存じます。それでは以降の議事進行につきましては松本委員長にお願いいたします。

松本委員長

<あいさつ>

只今から進行させていただきます。コロナ対応ということもあり、なるべく会議時間を短くしたいと思っておりますが、議論もしっかり行いたいと思います。よろしくお願いします。

2. 議題

(1)「第4章 計画の実現に向けて」について

※資料説明及び質疑応答

鶴田委員	4章の評価指標について。
	①「地区計画」は住宅地だけでなく産業系もあると思う。
	②地震対策だけでなく土砂災害や水害への対策をあげていないのはなぜか。
事務局	①についてですが、地区計画は25か所ぐらいあり一部工業系もあります。大部分は住環境の保全ということなので、言葉を付け加える形で修正いたします。
	②については、指標の絞り込みを行った結果2点になりました。今回の大雨でも被害が出ており、時間がまだあるので庁内で再度検討いたします。
松本委員長	①はどのような表現にするか。
事務局	例えば、「住居系」「住環境の保全にかかる」などの表現を入れます。
松本委員長	住居系の市街化調整区域の地区計画はよいと考えるのか。市街化区域内の工業系の地区計画はだめなのか。
事務局	工業系の地区計画を外す表現にしたいと思います。
松本委員長	住み続けるためには経済発展雇用確保は必要。地区計画で環境を保全しながら工場誘致は決して悪いことではない。住居系だけの地区計画でよいのか。
鶴田委員	将来像1に工業系の地区計画を入れてはどうか。
松本委員長	都市像3は住居系地区計画に絞り、経済に関して都市像1で工業系地区計画を設定する。
鶴田委員	小さな地区計画もあるので、箇所数よりも面積のほうがよいのでは？
事務局	岡崎市の場合は数千㎡の地区計画は想定していません。市街化区域内でもそうです。
松本委員長	小さな1haぐらいの地区計画も評価するには箇所数の方がよいということか。
事務局	色々な場所でまちを作っているという評価をするためには箇所数の方がよいのではないかと思います。
松本委員長	「箇所数」としましょう。
松本委員長	現在、市街化区域内で工業の地区計画はあるのか。
事務局	あります。建物の用途を制限しています。
松本委員長	2点目について。
	岡崎市は下水道の整備計画がある。その中で、ポンプ場を整備して浸水面積が減るとされているので、ハザードマップは書き換えられるのでは。水害は、今、皆さん敏感になっているので外せない。
	市街化区域内に土砂災害イエローレッドゾーンはあるのか。

事務局	立地適正化計画内では、居住誘導区域からは土砂災害のレッド・イエローゾーンは外している。
松本委員長	そこに対して都市計画としてできることは、居住誘導でできるだけ安全な場所に住んでもらうということである。 鶴田委員のおっしゃることは最もなことであるが、土砂災害を指標にするのは難しいのではないかと思う。
宇野委員	4-7PDCA の図について。計画実現に向けた方向性がある図であればよいと思う。社会情勢が変われば柔軟に計画を見直すというようなイメージの図がいいと思う。
松本委員長	おっしゃる通りだと思う。
事務局	見直します。
松本委員長	施策の PDCA を強力に推進しながら、社会情勢の変化があれば計画自体を見直す PDCA があるという、二重構造がよいのでは。
菅沼委員	地域別の目標に対し進行管理はどのように進めるのか。
事務局	地域別には具体の施策を掲げています。地域づくりの目標に対しての指標はセットしていないので、40 の目標の管理をなかなかしきれない。全体構想にもたれてチェックできればいいと思います。
菅沼委員	全体構想の中でチェックできるものはあると思うが、うまくいっているかいていないかのチェックができるかいいと思う。
松本委員長	地域づくりの目標が掲げられているので、そのチェックをどうするか。 例えば全体の評価指標を地区ごとにさせるものがあればいい。
事務局	都市像と関係するまちづくりの目標をセットしているのでそれほどずれたものはありません。全体構想と地域別構想で大きなベクトルは同じです。
松本委員長	せめて整備みたいなものは点検します、というのはどうか。
事務局	施策のチェックはできると思います。
松本委員長	施策自体の PDCA をやって、そのなかで地区ごとの施策のチェックができる体制にしているかどうかと思う。
杉山委員	①4-4 都市公園の官民連携は都市像 1 のカテゴリーではないか。 ②3-41 都計道蒲郡本宿線の整備は、10 年間で整備は厳しいと思う。
事務局	①〇〇公園でも賑わいや住やすさに繋がる取組をしているので、そういったもののイメージして都市像 3 にあげました。 ②岡崎市、蒲都市、豊田市の国道 473 号の同盟会で、会長市をしているという背景もあり記載しました。ご意見を参考にし、記載内容を精査します。
松本委員長	道路の位置づけとか、国の方針等が変わったときに整備の可能性が出てくるかもしれないので、記述を消すわけではなく、県と調整していただきたい。
松本委員長	官民連携の狙いは、商業的な意味なら都市像 1 に入る。だが、3 に入れたというのは、市民がまちづくりに繋がりがりながら市に愛着を持ってもらうという意味だと思うので、今のままで良いのではないか。
杉山委員	いいと思う。

片桐委員	インフラをメンテナンスしていくという視点があまり出ていない。過去の施策の見直しも必要だと思う。
事務局	インフラの老朽化については第2章6ページ、第3章12ページに記載しております。過去の計画の見直しについては、関連計画との整合性を図る中でできていると考えます。
松本委員長	まちづくりのありかた、都市整備の方針について国の方針が大きく変わっていくかもしれない。それを踏まえながら方向性を検討しなければならないが、今の段階では難しい。維持管理に関して、都市マス自体がそれをあまり明確に位置づけるものではない。しかし重要なご指摘をありがとうございました。都市マスには明確に記載しないが、別途計画が立てられているということを示してもいいかもしれない。
伊藤委員	4-4について、旧東海道は交通量が多く趣があるように感じられない。イベントだけでは改善しないと思うので、スピードを落とすような対策があるとよい。
事務局	担当部署に確認して、指標がとれるかどうか確認したい。
松本委員長	ウォークابلは今後全国で重要な方向性。どう実現するかというと官民連携であり、地域の方々と協力して交通の問題などを解決することが望まれている。それをどうやって計画に入れるかは難しいが、入れられそうなら入れてほしい。都市計画として、通過交通を排除する道路整備をするのは必要。渋滞箇所の対策等をして、裏道抜け道に車が入らないようにするのは推進してほしい。
稲垣委員	岩津地区は道路が混む。阿知和方面、今の環境はいいが、インターができたりして車が入ってくる。 同じように進めていくのか。
事務局	市民意識調査でも道路の課題は多い。交通系の指標がないという意見に従って、入れるとしたら「誰にでもやさしい交通環境の整備」という都市像3の目標の中にあります。もう少し指標の中身を整理して交通環境についても具体的な指標をセットできたらと思います。
松本委員長	地区別の施策のチェックをしてもらえればいいと思う。 今は道路をあまり作れないので指標があまりない。混雑度など、毎年の統計はあるのか。
事務局	今年度はセンサスの年ですが、コロナで調査をしません。調査では各路線の混雑度などが出てくるが、それを指標としても目標値の設定は、どうかと思います。
松本委員長	県でとっている指標はないのか。
菅沼委員	交通事故件数はある。
松本委員長	岩津地域では事故件数も大事だが、交通安全で目標を掲げてやることだと思うので、都市マスに書くかというと思う気がする。
稲垣委員	今から作る道路は、自転車道や歩道の規格が変わっている。そういった道路の整備延長を指標に使えないか。
事務局	現在別の部署で自転車ネットワークの計画を作っており、歩行者と自転車の分離で歩行者の安全を検討している。新設道路はあまりないが、既存道路の自転車通行空間は整備していくので、指標として書くことはできるかもしれません。

松本委員長 片桐委員 事務局 松本委員長	歩道の整備延長はわかりやすい指標だと思う。 電線の地中化は、都市景観や防災にも絡んでくるので指標にあってもいいのでは。 電線地中化は取り組んでいるところです。指標とするか検討します。 市民から見て進んでいることがわかることが大事なので、指標の設定は検討してほしい。
宇野委員	景観やまちづくり、快適性などは量だけでは表現できないし、（評価指標が）増えればいいわけでもないと思うので、写真や動画といった記録的なものを経年的に集めていて総覧できると、それを基にその後の展開の材料にできるのではないかと。定量的なものだけではなく、質的なもの確認できたらいいのではないかと。
松本委員長	おもしろいアイデア。評価指標として、数的な点検も重要だが、ビジュアル的に残していくのは都市マスの評価に入れることがそもそもあるのか。
宇野委員	定点観測をして、まちが変わっていく、新しい変化が次の変化を呼び起こす様子がわかるかもしれない。
松本委員長 事務局 松本委員長 事務局 長谷川委員 事務局	まちが変わっていく経緯を評価としてビジュアル的に残していくという時代である。 市が持っている視覚的な資料は、土地利用現況や都市計画基本図、航空写真などです。 今回の都市マスでは実現できないかもしれないが、将来的な課題としておもしろい。 整備の結果が市民に伝わるようにすることは大事。デジタル化が進むといい。 都市マスを、どのように市民へ発信するのか。 市民に興味を持ってもらうことは課題。パネル展示をする予定。委員から意見をいただけるとういいます。
宇野委員	視覚的に変化の変遷がわかれば市民に関心をもってもらえると思う。
鶴田委員	手に取ってもらえるような表紙にするのがよいのでは。
松本委員長	概要版の作り方を工夫しましょう。たとえばマンガなど、気楽に手に取ってもらい、市民目線で興味をひき、市の取り組みが伝わるようなことを意識して情報発信しましょう。
天野委員	概要版は発信の対象者や得たい効果によって、必要な情報を選別するなどしてもいいかと思う。
松本委員長 天野委員 事務局	オカザエモンで Youtube はどうか。 都市像 3 目標 2 は都市像 4 に含まれるべき内容ではないか。 都市像 3 は定住・居住の観点、都市像 4 は歴史資源を生かした交流の観点から設定しています。都市像 3 目標 2 は市民の居住環境の質の向上の観点で設定しているので、自然、歴史というキーワードが入っています。
天野委員	①都市像 3 は定住に対する評価指標で整理しておき、自然歴史文化の魅力増進という意味で交流人口を含めた指標を入れた方がいいと思う。そのときに、4-3 で都市魅力の指標が都市像 2 に入っている。これは公共インフラの維持・保全が主題だと思う。都市魅力の指標は都市像 4 に集約する方がいいのでは。 ②都市像 4 目標 1 について、現在、観光のあり方が大きく転換している中で、これまでのイメージでアンケートに回答されているとすると、過去とこれからで意識が違ふの

	で、指標とするのはどうなのか。情勢の変化に対応した評価の仕方を考えていくのはいかがか。
事務局	都市像 2 はネットワークだけでなく、拠点でのまちづくりの評価も含めて都市の魅力を設定した背景があります。
	都市像 4 の指標については前回も様々ご意見いただいて検討してきました。観光に求める価値が変わってくる中でどういったものが指標になるかというところ…
松本委員長	マイクロツーリズムは他の部署等で対応していくのだと思う。都市マスとしては、相対として市民がどう感じているかを捉えていくということでもいいと思う。
	自然・歴史・文化が都市像 3 と 4 で重複していることに関しては、都市像 3 は生活空間づくりが主旨。都市像 4 は自然・歴史・文化が主旨。都市魅力も色々な視点があるので 4 に集約するのは難しい。表現・言葉選びは今一度確認が必要かと。
事務局	確かに、自然・歴史・文化の指標は他にあっていいかと思う。SNS は活用できないか。インターネットでの情報発信は行っているが、SNS を活用するという観点はなかったもので今後検討します。
松本委員長	都市像 4 は重要。検討してください。
斎藤委員	市が NTT と提携したということで、住みやすさや防災の観点でいうと free-wifi カバー率はとれないか。
事務局	調べてみます。
松本委員長	4-5、4-6 の目標値は今後検討するということですね？10 年後の担当者が代わっても指標を見てわかり、市民が読んでも伝わるような表現になるよう工夫してほしい。
	PDCA について、特に、地域別の施策の進行管理ができる仕組みを考えてほしい。市民への発信の仕方、画像保全による評価について、事務局でご検討願います。
事務局	(スケジュールについて。)

3. 報告

(1) 今後のスケジュールについて

※資料説明及び質疑応答

→質疑応答なし

4. 閉会

事務局	次回の委員会の詳細な日程は改めて連絡いたします。これにて第 6 回策定委員会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。
-----	--

以上